

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年5月26日

オミクロン株とデルタ株：臨床所見の違い：ZOEスタディ

【松崎雑感】

ワクチン接種済みの方にとっては、現在のオミクロン株による感染はそれほど脅威ではなさそうです。ただし、現在世界で主流株となっているオミクロン株は、先行のデルタ株よりも重症化と入院リスクが少ないのですが、感染力が高いため、死亡の絶対数はデルタ株よりもずっと多くなる恐れがあります。さて、、ワクチン未接種の方々は、ワクチン接種済みの方の免疫にある程度守られているという面があるわけですが、医学的にワクチン接種可能な方は、出来るだけ早くワクチンを受けることをお勧めします。

オミクロン株とデルタ株：臨床所見の違い：ZOEスタディ

Menni C, et al. **Symptom prevalence, duration, and risk of hospital admission in individuals infected with SARS-CoV-2 during periods of omicron and delta variant dominance: a prospective observational study from the ZOE COVID Study.** **Lancet**. 2022 Apr 23;399(10335):1618-1624. doi: 10.1016/S0140-6736(22)00327-0. Epub 2022 Apr 7. PMID: 35397851; PMCID: PMC8989396.

要旨

ワクチン接種済みの人々におけるオミクロン株とデルタ株感染による症状、入院リスク、病悩期間の違いを検討。

新型コロナ感染後の症状などを報告するZOE COVIDアプリに登録した人々からの自己申告データを解析。

イギリス、16~99才、2回以上のワクチン接種歴、有症状（アプリ中の32症状）、PCRあるいは抗原検査陽性者である者を解析対象とした。

検査陽性の前後7日以内の入院歴の有無と症状の種類を集計した。

2021年6月1日から2022年1月17日までに、63,002名の検査陽性者がZOEに登録。

嗅覚障害はオミクロン株16.6%、デルタ株52.7%とオミクロン株に有意に少なかった（オッズ比0.17）。

咽頭痛は、オミクロン株70.5%、デルタ株60.8%とオミクロン株に有意に多かった（オッズ比1.55）。

入院リスクはオミクロン株1.9%、デルタ株2.6%とオミクロン株に有意に低かった（オッズ比0.75）。

結論

オミクロン株感染はデルタ株感染より下気道病変が少なく、入院リスクも少なかった。

オミクロン株の入院期間もデルタ株より平均2日短かったため、職場復帰までの待機日数の短縮も可能と考えられた。